



北緯40度 彫刻とホッケーのまち

いわてまち

6
No.624

2011年6月1日

祝

心
躍
る

駒
踊
る

主な記事

町スポーツ文化センター竣工式

町スポーツ文化センターがついに完成。竣工式のひのき舞台で郷土芸能「沼宮内駒踊り」を一心に踊る沢瀬拓哉君（16歳）＝民部田＝。700人を数えた出席者もアトラクション出演者も躍る心は皆同じ。待望の新施設完成を共に祝いました。（5月22日、町スポーツ文化センター）



祝 岩手町スポーツ文化センター竣工



「定礎」の文字の筆者、工藤万里奈さんと工事関係者らに感謝状を贈呈

式典の中で町の皆さんから募集していた同センターの愛称が発表されました。町に応募いただいた三百九十六通の中から選ばれた愛称は「森のアリーナ」。匿名の応募でしたが、応募理由の「子抱山の

愛称は「森のアリーナ」

式典式は五月二十二日、町の議会議員や各種委員、各スポーツ・文化団体、自治振興会の代表など約七百人が出席し、盛大に開催されました。

岩手町スポーツ文化センターの完成を祝う竣工式は五月二十二日、町の議会議員や各種委員、各スポーツ・文化団体、自治振興会の代表など約七百人が出席し、盛大に開催されました。

長年の念願ついに完成

老朽化した町体育館に替わる体育馆として、また、かねてより要望の強かつた本格的な舞台発表が可能な芸術文化施設として活用できる総合施設「岩手町スポーツ文化センター」が完成。五月二十二日、竣工式が挙行され、約七百人が完成を祝いました。

に行われました。

式典は北上川清流太鼓の力強い太鼓で幕を開け、民部田幾夫町長が「健康体力づくり宣言の町」を掲げ、一方で薫り高い芸術文化の歴史を持つ本町にとって、多くの皆さまの念願であったスポーツと文化の拠点施設が竣工を迎えることができました。今後は施設の利活用を推進するとともに、健康体力づくり、芸術文化活動を通じて町の将来像『めぐみの大地 笑顔が結ぶひと輝く 健康福祉のいわてまち』の実現に向け、力強くまい進していきます」と式辞を述べました。続いて、施設や建設費の概要が説明されたほか、「定礎」の文字の筆者である工藤万里奈さん(15)「橋場」と各種設計・工事関係業者らに感謝状を贈呈。最後は町民合唱団と出席者全員が歌う町民歌が高いアリーナの天井まで響きわたり、式典の幕を閉じました。

充実の設備が整う

同センターは、子抱住宅跡地約一万四千平方㍍の敷地に建設された延べ床面積約三千平方メートルの鉄筋コンクリート造（一部鉄骨造）の建物です。バスケットボールコートを二面配置できるアリーナ、15㍍×7㍍の広さのステージと照明や音響などの舞台装置、アリーナ両脇に約二百七十席の観覧席（車いすスペースを含む）を備え、建物内は冷暖房を完備。一年を通じて快適にスポーツ・芸術文化活動を行うことが可能です。

また、トレーニングルームやリハーサルルームのほかシャワー付きの更衣室なども備え、地震や災害の際には避難場所として活用可能。震度八の地震にも耐え得る構造となっており、町内で震度五弱を記録した三月十一日の東北地方太平洋沖地震でも被害はありませんでした。

式典式は五月二十二日、町の議会議員や各種委員、各スポーツ・文化団体、自治振興会の代表など約七百人が出席し、盛大に開催されました。町に応募いただいた三百九十六通の中から選ばれた愛称は「森のアリーナ」。匿名の応募でしたが、応募理由の「子抱山の



ロビーに飾られるブロンズ像は、工藤忠利氏＝川口出身、東京都在住＝により寄贈された



玄関を入ると目前に現れ来場者を迎えるモニュメント「輝く未来へ」



愛称 「森のアリーナ」

【応募総数】 396 通

【愛称応募理由】 子抱山の「森」に開まれた「空間の中」で、自然と触れ合いながらさまざまな活動をしているイメージで考えました

※アリーナとは、観客席を有するバスケットボールなど室内競技用の競技場やコンサートなどのイベント会場の総称です

■ Interview



町体育協会
早坂 富夫 会長
70歳、下苗代沢1

「町体育館に替わる念願の新施設完成に感謝します。広々としたアリーナとトレーニング機器などのすばらしい設備が整い、伸び伸びと体力づくりができる環境になりました。老若男女を問わず、町の皆さんにたくさん使用していただきたいと思います。施設を管理する我々体育協会職員も心を込めて対応します」



町芸術文化協会
久保 郁子 会長
58歳、上町

「私たち文化団体にとって、文化会館建設は長年の念願でした。スポーツ施設との融合という面でいろいろ課題があったと思いますが、関係者のおかげですばらしい施設が出来上がりました。これだけの広さがあることでイベントの可能性が広がります。町の文化団体が勢ぞろいするようなイベントもやれたらいいですね。私たちも挑戦していきたいです」

～スポーツ文化センター完成記念～



演奏者(楽器)左から 楊元宝(中国琵琶)、長尾博子(ピアノ)、姜建華(二胡)、チ・ブルグッド(馬頭琴)



活躍を誓う岩崎翔君(左上)と元気いっぱいにプレーするびきい～ずの選手たち

平成二十三年度町スポーツ少年団結団式は四月十七日、同センターで開催されました。当日は町内の各スポーツの団員や関係者ら約四百人が参加。十三単位団(団員二百十人、指導者六十五人)を代表して岩瀬張卓球スポーツの岩崎翔、團長(岩瀬張小五年)が、「スポーツの一員として、コーチなどの指導をいただき練習し、大会では良いプレーができるようがんばります」と宮崎市立小学校少年団本部長に力強く誓いの言葉を述べました。

結団式後には、同センターの落成を記念して、INCびきい～ずが一本木バレーボールスポーツを招き交流試合を行いました。びつきい～ずの久保玲央(おほな)奈主将(沼宮内小五年)は新しい体育館でみんなの応援を受けて試合ができる事がうれしいです」とあります。チームは大きな声を出して元気いっぱいにプレーし、同センター初の試合を勝利で飾りました。

同センターのオープニングにより、藝術文化や健康福祉、スポーツクリエーションなどあらゆる分野の活動の場として、また、地域間や町の枠を超えた出会いと交流の場として活用されることが大いに期待されます。

町スポ少結団式

びきい～ずが一本木バレーボールスポーツを招き交流試合を行いました。びつきい～ずの久保玲央(おほな)奈主将(沼宮内小五年)は新しい体育館でみんなの応援を受けて試合ができる事がうれしいです」とあります。チームは大きな声を出して元気いっぱいにプレーし、同センター初の試合を勝利で飾りました。

開場：午後6時
開演：午後6時30分
場所：町スポーツ文化センター
「森のアリーナ」

6月13日(月)



アジア悠久のひびき
「姜建華とシルクロード アンサンブルコンサート」

繊細で心安らぐ二胡、力強く輝かしい中国琵琶、草原のチェロといわれる馬頭琴。中国民族楽器それぞれが持つ特有の音色と響き。そして、いずれも一流の演奏者の音楽性と妙技をこの機会にぜひ味わいましょう。日本の歌メドレーなども演奏されます。



演歌やポップスなどを演奏した川口中吹奏楽部となじみある曲に湧き上がるアリーナ

式典終了後、引き続き行われたアトラクションには、川口中吹奏楽部のほか、保育園や幼稚園、各種郷土芸能など七団体が出演し、会場を盛り上げました。川口中吹奏楽部は、佐藤愛子先生指揮の下、滝本佳央部長以下三十人

竣工祝いアトラクション

が出演。マーチ・グリーン・フォレストのほか演歌メドレーや、ナジムあるボップスの楽曲を演奏する

と会場からは、手拍子や掛け声が掛かり、大いに盛り上がりました。

続いて城山保育園児によるマーチングや岩手中央幼稚園の岩手中央よさこいソーラン、沼宮内保育園児が踊る八木節が披露されると、園児たちのかわいらしい演技に出席者と詠め掛けた父母亲たちから大きな拍手が沸き上がりました。また、各地区からそれぞれ郷土芸能の沼宮内駒踊り、黒内田植え踊り、川口きつね踊りが出演。真新しい舞台の上で伝統の舞を披露しました。

各団体は広いステージを存分に使ったアリーナいっぱいに響く演奏や踊りで会場を盛り上げ、竣工式に花を添えました。

（左から）沼宮内保育所の「八木節」、岩手中央幼稚園の「岩手中央よさこいソーラン」、城山保育園の「マーチング」



（左から）沼宮内駒踊り、黒内田植え踊り、川口きつね踊り

のほか、保育園や幼稚園、各種郷土芸能など七団体が出演し、会場を盛り上げました。川口中吹奏楽部は、佐藤愛子先生指揮の下、滝本佳央部長以下三十人

No.	メニュー名	内 容	担当課
1	消費生活講座	悪質商法や多重債務問題などについて	総務課
2	交通安全教室	交通安全や交通ルールなどについて	
3	火災予防・初期消火の方法	火災予防や初期消火、住宅用火災報知器の設置などについて	
4	普通救命講習	普通救命講習やAEDの使用方法について	
5	作ってみよう地域の広報紙	広報紙作成のノウハウ	企画商工課
6	ふるさと岩手町ってこんなまち	知っているようで知らない町の姿を紹介	
7	いわてまち4つの駅構想	いわて沼宮内駅を基点とした4つの駅構想のあらましを紹介	
8	知って安心 医療・年金制度	国民健康保険や後期高齢者医療、国民年金などについて	町民課
9	子育て支援講座	町の子育て支援制度のあらましを紹介	
10	介護保険制度について	介護保険制度のあらましを紹介	
11	認知症について	認知症とは	健康福祉課
12	健康づくりについて その1	生活習慣病予防のための暮らし方	
13	健康づくりについて その2	健康料理のつくり方	
14	健康づくりについて その3	心の健康（うつ、自殺予防など）	
15	健康づくりについて その4	検診の重要性	税務会計課
16	暮らしの税情報	所得から控除される社会保険料や医療費などのあらましなど知って得する税情報	
17	町を支える税の仕組み	町税の内容、課税状況、税率などについて	
18	環境保全型農業について	環境保全型農業の取り組みについて	農林環境課
19	「積んだ玉菜の宝山」～キャベツ～産地100年の歴史	「南部甘藍」から「いわて春みどり」まで100年におよぶキャベツ産地としての町の歴史を紹介	
20	ごみの分け方・出し方	ごみの分別に関する講話	
21	本当は怖い狂犬病	町の狂犬病事業の説明	水道事業所
22	水道水のはなし	飲み水ができるまで	
23	汚水処理のはなし	浄化処理について（希望により浄化センターの見学も可）	
24	町議会の仕組みと役割	町議会のあらまし	
25	岩手町の小中学校の教育	町立小中学校の学校教育のあらまし	議会事務局
26	岩手町の歴史講座	町の歴史と文化財のあらまし	
27	おもしろニュースポーツ体験講座	さまざまなニュースポーツの魅力を体験	

出前講座のご案内

■「出前講座」とは

「出前講座」は、町の仕事などを皆さんに知っていただき、地域活動や日常生活に役立てていただけるよう町が開講するもので、町内の団体などの集まりに役場職員を講師として派遣。皆さんが知りたい情報をお届けするものです。なお、本年度のメニューは27講座です。

■利用に必要な要件

- ① 10人以上が参加する集まりの場
- ②会場の確保（公民館や集会所）
- ※会場費や講座に必要な費用などは利用者の負担となります

■申し込み方法

事前に日程や内容を町教育委員会に確認の上、「岩手町出前講座利用申込書」を、集まりを行う2週間前までに提出してください。

- ①講師料は無料（講義時間は15分から30分程度）
- ②担当課の仕事の都合で、ご希望に添えない場合もあります
- ③講師の派遣は、午前9時から午後9時までの間の2時間以内
- ④集会などの運営は、主催者（出前講座の利用者）が責任を持って行ってください

【問い合わせ】

教育委員会事務局社会教育係
☎ 62-2111 内線343・344



全国氣まぐれ會が結集 義援金を町社協へ託す

全日本アートトラック連盟に加盟する全国氣まぐれ會（藤原文男総会長＝雨滴出身、東京都在住）は5月3日、浮島地区でチャリティー撮影会を開催。例年、交通遺児のために開く同会。本年は震災復興支援として、義援金130,000円を町社会福祉協議会に寄付しました。当日は、全国各地から約300台のアートトラックと愛好者など約500人が集まり、親睦を深めました。



いわてまち焼きうどん 資金を得て炊き出しへ

いわてまち焼きうどん連合歓隊は5月3～5日、ゴールデンウイークの帰省客や旅行者でにぎわう道の駅石神の丘に出店。3日間で429食の焼きうどんを販売し、その売上の一部とお客様から寄せられた善意の募金を資金として5月15日、町婦人団体連絡協議会の協力を得て、宮古市の避難所となっている同市立愛宕小で「いわてまち焼きうどん」とひつみを炊き出し。被災者たちを元気付けました。同隊は、今後も継続的に被災地を訪れて炊き出しなどを行う予定です。

東日本大震災



川口地区自治振興会連絡協議会が義援金寄付

川口地区自治振興会連絡協議会（久保親房会長、写真左）は4月25日、川口地区的12自治振興会を通じて各世帯から集められた義援金417,000円を町社会福祉協議会に寄付。久保会長は「各自治振興会は被災者のために尽快く義援金を集めてくれました。川口地区民の気持ちを被災者へ届けてください」と話し、澤田ノリ社協会長に手渡しました。



岩手おなご塾おらんど女性ならでは心の支援

町内の女性グループ「岩手おなご塾おらんど」（柴田和子塾長、塾員30人）は、震災直後から義援金募集や物資支援などを実施。義援金はランドセルなどの学用品に換え大槌町立赤浜小に寄贈したほか、同会手作りの新聞紙で作るバラのコサージュや「福幸ふくろう」と名付けたマスク Gottōを被災者に届けたところ、女性や子どもたちに「癒される」と大人気。心のケアの必要性に気付いた同会は、今後も女性ならではの視点で復興支援を続けます。同会の活動報告はこちらからも見られます。www.hyoemon.com/orand.html

春の交通安全運動

のぼり旗作戦



水堀小学校前



岩手警察署前



安全教室



五月十一日から二十日まで春の全国交通安全運動が行われました。期間中、町や岩手警察署はさまざまなイベントを通じて交通安全を広く呼び掛けました。

交通安全教室

交通安全教室は、春の交通安全運動期間に先立ち四月十四日に開始。五月十日までに町内の小中学校や保育所、幼稚園など二十カ所の会場で行われました。

沼宮内小（小笠原章校長、児童三百十八人）では四月十四日、警察官や町交通指導員が、一年生や二年生と路上を歩行。安全な道路の歩き方や渡り方を指導したほか、三、四年生には校庭に設置したミニ信号機や横断歩道のあるコースを使い、自転車の正しい乗り方を実技指導しました。また、五年生は、ビデオ教材を見て道路に隠れた危険な箇所や事故の恐ろしさを学習

児童たちは同教室を通じて交通ルールと大切な命を守るすべを身に付けました。

のぼり旗大作戦

交通事故退治キャンペーン「のぼり旗大作戦」は、五月十一日、町内の国道4号沿い三万所で実施されました。

当日は、町交通安全協会員や交通安全母の会の会員のほか各自治振興会や老人クラブに協力を要請。沼宮内、川口、水堀の各地区に合計百五十人が集まりました。参加者たちは、それぞれ交通安全を呼び掛けるのぼり旗を手に持つて国道沿いに整列。ドライブに向け、「薄暮時のラ

5月11日
～20日

昨年度、町内では人身、物損を合わせて二百四十六件の交通事故が発生。残念ながら一人の尊い命が失われました。交通安全はみんなの願いであります。さまざまな団体から、延べ五百人を超える人が参加した春の運動。運動期間終了後もその願いが変わることはありません。一人ひとりが心掛け、交通事故をなくしましょう。

みんなの願い交通安全

運動期間中に黄色い羽根を着用し、交通安全の意識を高めようとして交通安全母の会などは五月十三日、町内の四カ所で児童生徒に黄色い羽根を配布しました。このうち川口地区には、民部田幾夫町長と柏崎建一岩手警察署長が訪問。交通安全母の会の会員たちと共に、まだ眠い目をこすりながら登校する児童生徒へ「おはようございます。気付けて歩いていてね」と声を掛け、黄色い羽根を配布しました。

Interview



町交通指導隊
瀬川 實 隊長

66歳、上愛宕下

一度止まって正しく渡ろう 自転車は3つのブレーキを

「皆さん、『正』という漢字は書けますか。『一』、『止』と書くと『正』になりますね。一度、止まる。それが正しい渡り方です」と、小学生に優しく語り掛ける瀬川隊長。自転車に乗る子どもたちには「3つのブレーキを忘れずに。前ブレーキと後ろブレーキ、そして『心』のブレーキです」と心構えから指導します。瀬川隊長は「元はラジオで耳にした話ですが、交通安全にぴったりだと思い、子どもたちに話しています。これは大人も高齢者も同じです。心に余裕を持ち、周りに注意して事故を未然に防ぎましょう」と交通安全を訴えます。



黄色い羽根



沼宮内高を交通マナーアップモデル校に指定

交通マナーアップに取り組み、地域の模範となるようにと、町と岩手警察署（柏崎建一署長）、北岩手交通安全協会（柏沢徳宣会長）は、本年度の交通マナーアップモデル校に沼宮内高を指定。5月11日、同校で指定書の交付を行いました。柏崎署長から指定書を受け取った同校生徒会長の小沢夏

実さん（3年）は「高校生らしい交通マナーを実践し、気持ちよい登下校を実行します」と決意を表明しました。

なお、指定期間は同日から平成24年3月31日まで。本年度、同署管内では同高が唯一の指定校となります。



柏崎署長から笑顔で指定書を受け取る生徒会長の小沢夏実さん

町農業委員選挙

告示日 7月 5日(火)

投票日は

午前 7時
午後 6時

7月10日(日)

期日前・不在者投票
7月 6日(水)～7月 9日(土)
午前 8時 30分～午後 8時

7月 19日に任期満了となる町農業委員会委員の選挙は、7月 5日に告示され 10日に投開票が行われます。この選挙は、農業に携わる人たちが自らの代表を直接投票で選ぶ大切な選挙です。有権者は、自分自身の判断で悔いのない一票を投じましょう。



迅速かつ正確に進められる開票、集計作業

委員の任期は3年
選挙で14人を選任

農業委員会は、選挙で選ばれる十四人と団体（農業協同組合、農業共済組合、土地改良区）から選ばれる三人、町議会で推薦される二人の合計十九人の委員で構成され、任期は三年です。

選挙の立候補と投票

町農業委員会委員選挙に投票できる人と立候補できる人は、次の三つの要件すべてに当てはまる人で、農業委員会委員選挙人名簿に登載されている人です。

①町内に住所がある人
②年齢が二十歳以上の人（投

票できる人は平成三年四月一日以前に生まれた人。立候補できる人は、平成三年七月十一日以前に生まれた人）
③十ヶ所以上の農地について耕作の業務を営んでいる人。また、同居の親族や配偶者で年間六十日以上耕作に従事していると農業委員会が認めた人
ただし、名簿に登録されていても、投票日以前に転出した人は投票することはできません。

説明会は 6月 17日
届け出は 7月 5日

立候補予定者の届け出に関する説明会は 6月 17日 午後二時から町総合開発センター第一会議室で行われます。立候補の届

け出は告示日の 7月 5日 午前八時三十分から午後五時まで、役場二階第一会議室で受け付けます。

投票は二十一カ所で

投票は、町内二十一の投票所で行われます。投票時間は午前七時から午後六時まで。後日配布する「投票所入場券」に記載されている投票所で投票してください。なお、投票所には入場券を忘れずにお持ちください。

投票は原則として自分自身で投票用紙に記入して行うことになっています。目が不自由だったり、手にけがをしていたり、自分で投票用紙に記入できない人は、係員が本人に代わって記

仕事や病気、用事などで投票日に投票区内にいない人も次により期日前投票ができます。
期間】 七月六日(水)～七月

両投票制度利用を

載する「代理投票」により投票することができます。代理投票を希望する人は、投票所の受付に申し出ください。なお、付き添いや看護が必要な人が投票する場合は、看護人や付添人、また乳幼児などを連れている人も一緒に投票所へ入れることができます。ただし、有権者以外の人が投票用紙を投票箱へ入れることはできません。

県知事表彰

7月 17日の豪雨災害で救助活動に尽力
町消防団と尾呂部自主防災組織が受賞

昨年七月十七日に発生した

豪雨災害における救助活動などの功績により、町消防団（早坂信一団長、団員三百五十九人）と尾呂部自治振興会自主防災組織（福士者会長）の両団体が岩手県知事表彰を受賞しました。両団体は四月二十五日、役場町長室を訪問。民部田幾夫町長にそろって受賞を報告しました。

投票所名	投票所名（投票所を設ける場所）
第1投票区	御堂集落センター
第2投票区	水堀いきがい交流センター
第3投票区	横沢集会所
第4投票区	豊岡開拓婦人ホーム
第5投票区	新町城山青年婦人会館
第6投票区	細沢多目的集会施設
第7投票区	勤労青少年ホーム
第8投票区	愛宕下住宅集会所
第9投票区	林業研修センター
第10投票区	横田地区コミュニティ消防センター
第11投票区	久保公民館
第12投票区	一方井健康センター
第13投票区	黒石生活改善センター
第14投票区	黒内多目的集会施設
第15投票区	信義丘会館
第16投票区	浮島多目的集会施設
第17投票区	川口地区社会体育館
第18投票区	野原地区コミュニティ消防センター
第19投票区	南山形高齢者等活性化センター
第20投票区	北山形公民館
第21投票区	岩瀬張地区集落センター



民部田町長(左)に受賞を報告する町消防団幹部(左)と尾呂部自治振興会の皆さん(右)

吉

料金受取人名 沼宮内温故知新	
0284390	
5	
岩手町長 民部田 幸夫 行	
岩手町大字五日市第10地割44番地	
沼宮役場	

町長直通便

町の皆さんと行政との大切な対話の場「町長直通便」。よりよいまちづくりには、住民と行政の地道な「対話」が不可欠です。平成22年度は、延べ38通、40項目の質問や意見が寄せられ、その内容は、生活に身近な事柄から産業、福祉まで多岐にわたります。ここでは、寄せられた主な内容と回答の一部を紹介します。なお、紙面スペースの都合上、実際の文章表現や回答を一部変更、簡略化しています。

問 廃棄される農産物の有効活用について

規格外の野菜など食料品を集め必要としている人に届ける「フードバンク」という活動があります。町の食品ロス対策に検討をお願いします。

答 四十代男性

規格外野菜の活用 積極的に支援

町の野菜は、主に首都圏を中心に出荷されています。出荷規格が決まっているのは、規格を統一することによって流通コストを低減する目的があるようです。従いまして、規格外は市場流通に乗らないことが多いよ

うです。
ご指摘のありました、規格外の野菜を有効に活用することについて、現在本町において取り組んでいる主なものとして、道の駅「石神の丘」の产地直売施設において、規格外野菜の販売を実施しており、農家所得の向上につなげています。また、今では、県内の漁業加工業者と連携して、規格外野菜の取り引きも実施しています。

ご提言にあります、「フードバンク」については、首都圏を中心活動しているようですが、本町においての必要性も含めて関係機関と連携しながら検討したいと思います。町としては、今後も農家所得



方言をテーマにした「沼宮内温故知新」事業は大好評

問 図書館の空調について

図書館をよく利用しますが、館内が蒸し暑く不快感を感じることがあります。基準はどのようになっていますか。

答 五十代男性

快適さと本の品質 保持を考えて設定

人が感じる快適さと本の品質保持のバランスなどを考え合わせ、館内の温度は二十六度、湿度は五十五%に設定しております。なお、館内の暖房と冷房の切り替えは、空調機械の点検などと併せ例年6月後半の休館日に作業を行っています。いった

問 方言について公館事業で取り上げては

方言は地域の文化であり、歴史です。ぜひ後世に残していく

答 地域整備課

町の直営作業班と二十一の委託業者で区域を分担して除雪を行っています。除雪は多くの住民に影響がある主要幹線道路や通学路（歩道）などを先に行うこととおり、大雪の場合には、限られた時間で出来る限り多くの地区や路線の交通路の確保を図る必要があることから、まずはひと通り迅速に除雪する方法を取っています。しかし、短時間に作業するため、どうしても丁寧には限界があることがあります。

今回の除雪作業については、近年にない大雪のために対応が遅れ、行き届いた作業ができず大変迷惑をお掛けしました。

今後、ご指摘いただいたことを参考に、より良い除雪作業が出来るよう従来の方法を見直しを検討してまいります。

※本年度は、東日本大震災の影響による電力不足などにも配慮しながら、適切な温度管理に努めます。

方言は地域の文化であり、歴史です。ぜひ後世に残していく

問 方言について公館事業で取り上げては

せなど、町内のイベントの際は来場者への宣伝も兼ねて試食なども行つてきました。

今後も、農商工連携をさらに推進し、町の特産品の商品化などにつなげたいと考えています。

方言は地域の文化であり、歴史です。ぜひ後世に残していく

ん切り替え作業を行いますと、寒くなつたからといってすぐにもとに戻すことは難しいため、天候状況などを見極めながら冷房の切り替え作業を行いたいと考えます。

問 廃棄される農産物の有効活用について

規格外の野菜など食料品を集め必要としている人に届ける「フードバンク」という活動があります。町の食品ロス対策に検討をお願いします。

答 四十代男性

規格外野菜の活用 積極的に支援

町の野菜は、主に首都圏を中心に出荷されています。出荷規格が決まっているのは、規格を統一することによって流通コストを低減する目的があるようです。従いまして、規格外は市場流通に乗らないことが多いよ

うです。
ご指摘のありました、規格外の野菜を有効に活用することについて、現在本町において取り組んでいる主なものとして、道の駅「石神の丘」の产地直売施設において、規格外野菜の販売を実施しており、農家所得の向上につなげています。また、今では、県内の漁業加工業者と連携して、規格外野菜の取り引きも実施しています。

ご提言にあります、「フードバンク」については、首都圏を中心活動しているようですが、本町においての必要性も含めて関係機関と連携しながら検討したいと思います。町としては、今後も農家所得



規格外野菜などを販売する道の駅「石神の丘」の産直施設

町長直通便に寄せられた内容と件数	
道路などの整備	12件
行財政運営の効率化・健全化	1件
産業の振興	4件
学校教育・社会教育の振興	4件
安全・安心な生活環境づくり	4件
快適な生活空間づくり	1件
健康・福祉・医療の充実	8件
その他	6件
計 40件	

問 方言について

方言をテーマにした「沼宮内温故知新」事業は大好評

答 取り上げたい

方言は、その地方や地域の特徴を色濃く反映する、形のない「生きた文化財」であると認識しております。方言の種類は多種多様で、同じ岩手町内でもその地域によって違いをみせる方言も数多くあります。一時期、方言は教養のない田舎者の言葉、「訛っている」などと否定的な捉え方をされていたこともあります。また、テレビやラジオなどのマスメディアによる共通語の浸透、交通網の発達による都市圏の拡大、高等教育の一般化、全国的に進む核家族化や地域コミュニティの衰退など、方言を承る機会の減少だから、伝統的な方言は急速に失われつつあると感じています。

問 方法検討します

本町では、町が管理する町道は町内でも多種多様で、その扱いが生じてきたと感じています。公民館事業に方言を取り上げてはとの提言については、方言が約五百キロにもおよぶため、

答 より良い除雪について

年末始の大雪で除雪が間に合わず、車で動くことができない状態でした。しっかりと除雪をお願いします。

女性

問 商店街の活性化と観光客について

焼きうどんのほかにもキヤべツを利用したお土産品を考えた結果、行き届いた作業ができる大変迷惑をお掛けしました。

四十代男性

活性化に努めます

町長直通便を投函の際は住所と名前をはっきりと

前年度いただいた「直通便」のうち5通に差し出した人の名前がありませんでした。無記名の「声」も町長はじめ担当各課で内容を検討し、今後の施策の参考とさせていただいている。しかし、質問や意見に直接答えるといった皆さんとの「対話」も大切です。お互いが「言いいっぱなし」にならないためにも、お寄せいただきましたが、はがきには住所やお名前を必ず記入してください。なあ、今年度は「町長直通便」のはがきを2回、6月と12月にお届けする予定です。専用のはがきを出すときは必要事項を記入の上、「キリトリ線」にそって切り取り、切手をはらずに投函してください。はがきは来年6月30日まで有効です。

【問い合わせ先】 役場企画商工課企画広報係
☎ 62-2111 内線 216

いつか
どこかで



それぞれの夢を描いて

将来は「パーティシエになり作ったケーキとお菓子でみんなを笑顔にしたい」知加さんと「小さい頃から馬が好きで競馬の世話をしたい」蘭さん、「猫好きで猫カフェを開いて好きな本を置きたい」「パン作りがおもしろううなうのでパン屋さんになりたい」璃子さんは個性ある夢を描く水堀小の5年生。学校では、それぞれ児童会副会長、図書委員、図書委員、保健委員として活躍しています。運動会に向けた応援練習を昼休みもがんばるなど、大きな行事に4人は力を合わせて臨みます。



温泉に行くのが楽しみです

沢口 マメさん (78歳、下横沢)

「着物を縫うのが好きなんですよ。ほら、これも自分で縫ったものですよ」と自慢の着物を羽織って話すマメさん。子どものころにおばさんから教わった裁縫で、自分で着るものばかり離れて暮らす娘さんのためにと着物を縫います。その出来栄えは、娘さんが近所の人に褒められるほど。「褒められたらやっぱりうれしいですね」とますます着物作りに励みます。長年連れ添う旦那さんは、長く出稼ぎに行っていたそうで、「寂しかったころもありましたけど、今は一緒にのんびり暮らしています。けんかすることもありますが、一緒にいないとけんかもできませんからね」と笑います。地区の老人クラブでは「やれるかわからないけど、誰かがやらないと楽しみがなくなるから」と会長を引き受け、会員みんなで行く温泉を何よりの楽しみにしています。



佐藤 光琉くん (2歳6ヶ月)

甘えん坊なところもありますが、いつも明るくここにこしている子です。お気に入りのキャラクターが出るテレビ番組が大好き。最近は、兄(優磨君、5歳)の遊んでいる姿をまねて仲良くしていたかと思うと2人でけんかしていたり、わんぱくな一面も出てきました。2人が遊ぶ声で家中の中はいつもぎやかです。明るく健康で友だちがたくさんいる子に育ってほしいですね。(母親・智子さんの話)



みんなのたまご

皆さんが作る楽しいスペースです。あなたもぜひ登場を。町政や町民生活に関して、言いたいこと、呼び掛けたいことなど、あなたの声やあなたの地域・職場での話題をお寄せください。投稿と問い合わせは役場企画商工課企画広報係内線216まで。



① 緑色のパッケージが新鮮野菜を連想させる新発売の「しんいちろう餃子」②粉夢スタッフもその味に自信あり③好評の味をさらに改善する意見が飛び交う試食会



④琵琶神社前を流れる沢で砂金採取を試みる参加者たち⑤現在はふさがれてしまい判別できないが佐藤さん㊨が子どものころ中で遊んでいたという遠中鉱山伏場1号抗の入り口跡

町産食材を使用して特産品を作ると町内の製麺所粉夢は、町が県内一の生産量を誇るナガイモ(ねぼり芋)を使用した冷凍ギョーザを開発。四月二十六日、生産者や関係者が集まり試食会が行われました。細切りのナガイモのほか、いずれも町内産の小松菜、ネギ、やまと豚を包んだこのギョーザ。試食した参加者は「さっぱりしていておいしい」、「肉のうまみも良く出ている」、「箸が止まらない」

とその味を絶賛。また、「二二ヶ人が入っていないので昼食でも食べられる」「ナガイモは大きい方が良い」など活動に意見交換されました。試食会後、改良を重ね完成した商品は、町の特産キヤベツ「いわて春みどり」などを使い、昨年商品化した「しんいちろう餃子」に続く第二弾として、「しんいちろう餃子」(ねぼり一と命名)商品のパッケージデザインは、費用の一部に助成が受け取組みからまた一つ誕生した岩手町ブランド。ぜひ、

町観光ボランティアガイド 金鉱山の跡を探して研修会

「しんいちろう餃子」ねぼり

けられる町の小規模商品開発調査費等支援事業が活用されています。町と商業者、農産物の生産者が連携した取り組みからまた一つ誕生した岩手町ブランド。ぜひ、

ご賞味ください。なお、「しんいちろう餃子」ねぼりは十二個入りで四百二十円。町内や盛岡市内のスーパー、また道の駅石神の丘などで販売されています。

町の観光振興をボランティアで支える町観光ボランティアガイドの会(橋本壽美男会長、会員二十人)は四月二十五日、「岩手町の金山の謎を探る」として同会の研修会を開催しました。当日は、同会の会員など十四人が参加し昭和三十一年代まで掘されていたといだ遠中鉱山の跡を探そうと南山形地区を探索しました。案内役は、同地区出身で同会の会員佐藤良則さん㊨(下愛宕下)。佐藤さんは、参加者た

ちは、町の新たな魅力にしようと急坂に息を切らしながら熱心に調査しました。参加者の一人案内しました。参加者は、町のトネネルの入り口跡に案内しました。参加者は、町の新たな魅力にしようと急坂に息を切らしながら熱心に調査しました。

一方井中恒例のシイタケ植菌

一方井中（松村誠一校長、生徒七十一人の）の一年生三十六人は四月十八日、同校でシイタケの植菌作業を体験しました。当日は、シイタケ生産者の三浦新吾さん（51歳、鳴沢）が指導。生徒全員がコナラの木にドリルで穴を開け、穴にシイタケの菌が入ったコマを詰め込む作業を体験しました。コマを詰めた約百本の木は、林の中に整然と並べられ、作業を行った一年生が三年生になつた秋に最盛期となるシイタケの収穫を待ちます。



三浦さん㊨の指導を受けドリルで等間隔に穴を空ける生徒たち

久保小の全校児童が清掃奉仕



みんなが使うホッケー場の観客席を丁寧に拭く久保小児童たち

日ごろの感謝を込めて

久保小（千藤茂校長、児童二十二人）は五月二十日、日ごろ大会や練習で使用する町総合運動公園の清掃奉仕活動を行いました。当日は全校児童がホッケー場と総合グラウンドに分かれて、それぞれ観客席の水拭きやごみ拾い、草取りなどを丁寧に行いました。毎週土曜日に練習でホッケー場を使用している久保晃汰君（二年）は「いつも使っているところがきれいになつてうれしいです」とびかびかになつたホッケー場を見て満足気に話しました。

スポーツ

健康体力づくり推進宣言のまち 岩手町



④「得点はさせない」とばかりにシュートに飛び込む選手



⑤ゴールへの執念を見せるもあと一步、惜しくも届かず

第31回IBC杯ホッケー大会
中学生の部川口高中が男女優勝

第31回IBC杯ホッケー大会は4月29日、町ホッケー場で開催されました。大会は例年、中学生の部と高校の部、一般的の部が行われていますが、今回は東日本大震災の影響により、出場チームの召集が困難なことから、中学生の部のみの開催となりました。

開催された中学生の部には、県内外から男子8チーム、女子7チームが出場。熱戦の結果、男女とも優勝した川口高中をはじめ町勢が上位を独占しました。昨年度、全国優勝の一方井中女子や同準優勝の川口中女子、11人制で全国を制した男子県選抜チームに続き、本年度も中学生の活躍が期待されます。

大会結果は次のとおりです。

◆中学生の部 ▼男子①川口中②沼宮内中③一方井中④棚倉クラブ（福島）⑤東部中⑥一迫中（宮城）⑦築館中（宮城）⑧三沢市クラブ（青森） ▼女子①川口中②沼宮内中③東部中④一方井中⑤三沢市クラブ（青森）⑥築館・一迫（宮城）⑦棚倉クラブ（福島）

吹奏楽の基礎学ぶ講習会開催

町吹奏楽基礎講習会は五月十五日、沼宮内中を会場に開催されました。当日は、町内外の学校の吹奏樂部員や愛好者など七十二人の参加者に、本町出身の打樂器奏者板垣アヤ子さんを中心としたプロの演奏者八人が、楽器ごとに分かれて演奏を丁寧に指導。参加者たちはプロの指導に熱心に耳を傾けました。また、指導の合間に講師によるミニコンサートが行われ、会場は美しい音色と参加者の熱気であふれました。



サックス奏者の成田徹さん㊨の指導を熱心に聞く参加者たち

プロの技を間近で吸収

沼宮内高生が通学路など清掃



ごみを拾い町をきれいにしようと思欲を持って取り組む生徒たち

通学路など地域をきれいにしようと沼宮内高（小田島均校長、生徒二百二十一人）は四月二十九日、清掃活動を行いました。当日は、県高総体予選などで不在の生徒を除く全校生徒と教職員が参加。学校周辺や国道4号沿い、いわて沼宮内駅周辺など広い範囲にわたり、ごみを拾いました。駅前から学校までの「ごみを拾つた佐々木祥太君（三年生）」は、「こういう地域に貢献できる機会が多くあるべきですね」とやりがいを感じながら清掃に取り組みました。

全校あげて地域に貢献



● 記録ファイル ●

◆第32回東日本中学生ホッケー日光大会（5月3～5日、栃木県日光市） ▼男子①沼宮内中②大沢中A（栃木）③川口中A ▼女子①豊岡中（栃木）②沼宮内中③川口中

◆高円宮賜杯第31回全日本学童軟式野球大会マクドナルド・トーナメント町予選（5月1日、町野球場） 岩手野球スポーツ少年団 9-2 沼宮内野球スポーツ少年団

◆高円宮賜杯第31回全日本学童軟式野球大会マクドナルド・トーナメント岩手北予選（5月7日、町野球場）
①松野スポーツ少年団（八幡平市）②岩手野球スポーツ少年団 ③大更野球スポーツ少年団（八幡平市）④五日市メッツ（葛巻町）

◆第40回岩手県少年軟式野球大会兼第28回全日本軟式野球大会町予選会（5月15日、町野球場） ①沼宮内クラブ②一方井クラブ③川口クラブ

ご利用ください

テニスコート（砂入り芝4面 ナイター設備）		
※1時間1面当たり（町外の人の利用は利用料2倍）		
	照明なし	夜間照明利用
一般	300円	600円
高校生以下	100円	200円

【利用時間】午前8時30分～午後10時

【休館日】毎週曜日（月曜日が祝日の場合は火曜日）

【申し込み先】総合運動公園管理事務室☎62-4835

【申し込み方法】利用日の1ヶ月前から電話で予約を受け付け。利用日当日に使用申請書を提出し使用料を納付してください

6月

図書館だより 62-2877

日	月	火	水	木	金	土
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30		

印は休館日 火～金曜日 9:00～18:00
土・日曜日、祝日 9:00～17:00
※時間が変更になる場合があります。

書名	著者
隣室のモーツアルト	藤堂志津子
ロマンス	柳広司
山本さんのいいつけ	山口瞳
おいしい手作り保存食	石澤清美
知識ゼロからのお参り入門	茂木真純
怪盗ブラックの宝物	平井宥慶
びあらうさぎ	那須正幹
	あきやまだし絵

【ゆはずチビッコ映画会】
日時：6月30日(木) 午後3時30分から
場所：ゆはず交流館 視聴覚室
対象：幼児、小学生

【おはなし会】
日時：6月26日(日) 午前11時から
場所：ゆはず交流館 学習室
対象：小学校就学前のお子さん



図書館の周りの木々も日ごとに緑が濃くなり、春から夏へと衣替えの準備をしているようです。

新着図書案内

■ナニワ・モンスター
関西最大の都市浪速区で新型インフルエンザ「キャラメル」が発生。パニックの裏でうごめく司法の陰謀。ナニワの風雲兒、村雨知事がもぐる、未曾有の危機への最後の処方箋とは？

■幻想郵便局
山の上の不思議な郵便局でアルバイトをはじめたアズサ。平穏な日々が徐々に陥り、絶体絶命の危機が発生し…。生きること、死ぬことへの疑問を描いた長編小説。

■ミニ&ベビー野菜のコンテナ菜園
育ててみたいミニ野菜と、簡単に食べられるベビー野菜を中心収穫できる野菜などを紹介し、育て方を写真でわかりやすく解説する。

■これは本
パソコンが得意なロバくんと本が大好きなサルくん。本を知らないロバくんは、サルくんに本の使い方を聞きますが…。本の良さってなんだろう？ シンプルに問い合わせる絵本。

佳作 かくれんばひとり呼吸を聞いて待つ
いつまでも生の感動疼いてる
大雪で折れた桜Vに咲く
悲しみのがれきの山に鯉のぼり
声かすむみづく鳴きて闇深し
花の戸を繰りて新たな世に見ゆ
山吹の黄色又良し石に座す
秀逸 一人身が夫婦喧嘩に憚れる
儲け下手世渡り下手の宝くじ
震災の怖さ土筆も覗いてる
櫻花彩りもなお悲しげに
特選 爆弾が落ちてやられたような運

川柳 席題「雑詠」

佐藤送仙選

自	柴田	佐藤	戸塚村	琴草	厚子	小草	柴田	高橋	山口	西田	馬渕	土橋	佐藤	柴田	遠藤	今松	佐々木	川原	川原	川原
柴田	佐藤	喜孝	琴草	麗子	美季	國男	満子	ヒノ	梅子	信彦	利休	はつお	梅子	梅子	金作	利休	小夜	道程	道程	道程

保健だより(健康福祉課)

今日は島田先生保健師からのお便りです
問い合わせなど相談は役場健康福祉課
☎ 62-2111 内線 513-516へ

食事でしつかりと体づくりを ～早寝、早起き、朝ごはん～

六月は「食育月間」

食生活は、毎日を健康に過ごすための基本です。食育月間にちなんで、普段何気なく食べている食事について、家族みんなで考えてみませんか。

子どもの食育

▽一日のスタートは朝食から朝食は、脳にエネルギーを補給し、体を自覚めさせます。「早寝、朝ごはん」の習慣を心掛けましょう。

大人の食育

△家族で食卓を囲み、食べる楽し

さを身につけよう

食卓は、家族を結ぶコミュニケーションの場。食べる楽しさを共有しながら食事のマナーも学べます。

△メタボに注意

高齢者の食育

△低栄養の予防

高齢者は、少食や食事の偏りか

ら低栄養になりがちです。特に

魚、肉、卵、大豆製品などのたんぱく質をしっかり取りましょう。

△転倒骨折予防

骨を丈夫にし、カルシウムを効

率良く取れる牛乳を飲みましょ

う。また、足腰が衰えないように

く質をしつかり取りましょう。

△骨粗鬆症の予防

高齢者は、少食や食事の偏りか

ら低栄養になりがちです。特に

魚、肉、卵、大豆製品などのたんぱく質をしつかり取りましょう。

△食事はバランス良く

特に不足しがちな野菜類はビ

タミン、ミネラル食物繊維が豊

富で低エネルギー。血压やコレ

ステロールの上昇を抑える上で

効果的です。



楽しみながら歩くなど無理のない運動を習慣にしましょう。

大切な「歯」を守る検診

おいしく食べるには、口も健康でなければなりません。歯は食べるだけでなく、言葉を話す、表情を形成する歯を食いしばり力を出すなど生涯にわたり大切な役割を果たします。町では、虫歯予防を目的に妊娠、幼児、成人の各年齢に合わせて無料の歯科検診受診券を交付していますが、特に四十歳、五十歳の成人歯科検診は、利用者が少ない状況となっています。四十歳ころから急増する歯周病は、氣付かないうちに進行。大切な歯を失うことにもなりかねません。対象の人は、この機会にぜひ検診を受けましょう。

「食」と「歯」のイベント開催

七月に歯と食の健康づくりのためのイベント「もりもり食べて歯つびー・ウエルカム・噛む」を開催します。昨年の同イベントには町内外から約三百五十人が参加。歯に良い食べ物の試食や野菜を育てる種植え体験など楽しい内容です。詳しく述べて知らせしますので、ぜひ皆さんの参加をお待ちしています。

寝具の洗濯などのサービス行います

やさしさを持ったまち
(健康福祉課地域包括支援センター)

町は、在宅で寝たきりのお年寄りなどを対象に、寝具の洗濯や乾燥などのサービスを行っています。実施は年2回で、第1回目は6月に行われます。なお、1回当たりの利用者は10人程度を予定していますが、希望者が予定を上回った場合は、世帯や介護の状況により利用者を決定します。

【費用】 無料(町が負担します)
【申し込み期限】 6月15日(水)
【問い合わせ先】 役場健康福祉課 地域包括支援センター
☎ 62-2111 内線 515, 518

- ①掛け布団、敷き布団、毛布
- ②掛け布団、ベッドパット、毛布、マットレス
- ③掛け布団、敷き布団、毛布、マットレス

【サービスの内容】 年2回以内の利用で、1回当たりのサービスで利用できる寝具の組み合わせは次のとおりです

【対象になる人】 住民税非課税世帯

子どもの急な病気は

こども救急相談電話

【受付時間】午後7時～11時(年中無休)
【電話番号】局番なしの☎# 8000 (P H S、ダイヤル式回線電話、I P電話は☎ 019-605-9000)

診療時間外の受診

■症状が軽い場合
【受診場所】**盛岡市夜間急诊診療所**

盛岡市神明町3-29 盛岡市保健所2階 ☎ 019-654-1080

【受付時間】午後7時～11時

■症状が重い場合

【受診場所】**小児救急入院受入当番病院**

右記予定表のとおり

【受付時間】午後5時～翌朝9時、土曜日は午後1時～5時

【対象】症状が重く入院が必要と思われる子どもと、盛岡市夜間急诊診療所や休日当番医が診療していない時間帯の急病の子どもを受け入れます

【注意点】日中の診療時間に受診できる人は、時間内に受診しましょう。また、重症な子どもの治療に支障をきたさないよう、まずは盛岡市夜間急诊診療所を受診しましょう。日曜、祝日の日中は休日当番医を受診してください

「こころといのちを支えるいわて」ひとりで悩まず下記にご相談ください。

盛岡いのちの電話 ☎ 019-654-7575 (正午～午後9時、日曜日のみ午後6時まで)
県精神保健福祉センター ☎ 019-622-6955 (午前9時～午後4時30分)
役場健康福祉課 ☎ 0195-62-2111 (内線513、517)

石神の丘美術館 今月のみどころ!

プリン同盟10周年記念展

会期：6月11日(土)～7月24日(日)
開館時間：午前9時～午後5時 会期中休館日はありません
観覧料金：一般300円／大・高生200円／中学生以下無料

美術館では、ちょっと不思議で楽しい展覧会「プリン同盟10周年記念展」を開催します。

2001年に盛岡で誕生した「プリン同盟」は、プリンとアートを軸にユニークな活動を続ける団体です。この展覧会では、同盟員およそ50人の「創造力」と「想像力」に富んだ絵画、立体、手工芸作品を紹介します。会期中、屋外展示場では「スタンプリンラリー」も開催します。



石神の丘美術館の屋外展示場にはラベンダー園があり、6月下旬から7月上旬にかけて見ごろをむかえます。

＊＊ラベンダーフェア＊＊

期日：6月25日(土)、26日(日)、7月2日(土)、3日(日)

☆野点(のだて)の会

☆ラベンダーの摘み取り体験

☆ラベンダーグッズの販売など

爽やかな色と香りを
楽しんでみませんか？



このコーナーへの問い合わせ…
石神の丘美術館 ☎ 62-1453

日	月	火	水	木	金	土
			6/1 こども	2 中央	3 日赤	4 医大
5 中央	6 日赤	7 川久保	8 中央	9 日赤	10 中央	11 こども
12 中央	13 医大	14 川久保	15 中央	16 医大	17 中央	18 日赤
19 医大	20 中央	21 川久保	22 中央	23 中央	24 日赤	25 こども
26 中央	27 中央	28 日赤	29 医大	30 中央	7/1 日赤	2 医大

町民カレンダー

※広報掲載後に予定が変更になる場合もありますが、そのときは、回覧や広報などでお知らせします。なお、町内の団体などもこの欄をご利用ください。

6月

日(曜)	時間	行事名	場所
3(金)	9:00～15:00	人権相談	町勤労青少年ホーム
8(水)	12:45～	3歳6ヶ月児健康診査(平成19年10月14日～12月8日生まれ)	町保健センター
12(日)	9:30～	第63回県民体育大会ホッケー競技	町ホッケー場
13(月)	18:30～20:00	スポーツ文化センター完成記念 アジア悠久のひびき シルクロードアンサンブルコンサート (一般公演：無料)	町スポーツ文化センター
14(火)		狂犬病予防接種(23日まで)	町内各会場
16(木)	10:00～	まんまと湯っこの会	老人福祉センター
20(月)	9:00～12:00	人権・行政相談	町勤労青少年ホーム
22(水)	10:00～15:30	盛岡年金事務所出張相談 (要予約：盛岡年金事務所 ☎ 019-623-6211)	ゆはづ交流館
23(木)	10:00～	子育てサロン“すくすく” ※生後から未就学児とその保護者対象です。	町保健センター
28(火)	12:45～	6ヶ月児健康診査(平成22年12月生まれ) 9ヶ月児健康診査(平成22年9月生まれ) 1歳児健康診査(平成22年6月生まれ) ※乳幼児の検診を希望する人はどなたでもおいでください。	町保健センター

町県民税の納付期限は6月30日(木)です

※口座振替の場合は6月27日(月)に指定の口座から引き落としになります

6月の休日当番医

日曜	当番医	電話番号	日曜	当番医	電話番号
5(日)	沼宮内地域診療センター	62-2511	7月の休日当番医		
12(日)	佐渡医院	62-3211	3(日)	一方井診療所	62-2659
19(日)	佐々木医院	62-2234	10(日)	北上脳神経外科クリニック	61-3636
26(日)	塙谷医院	62-1155	17(日)	さわやかクリニック	62-2043

沼宮内地域診療センター 6月の応援診療科

診療科	診療日	受付時間	診療科	診療日	受付時間
脳神経外科	14日	8:30～11:00	皮膚科	14, 28日	13:00～15:30
循環器(内科)	13日	13:00～15:30	耳鼻咽喉科	8, 22日	13:00～16:00
小児科	3, 10, 17, 24日	13:00～16:00	整形外科	21日	8:30～11:30

※休日当番医、応援診療科は予定を変更する場合がありますので、あらかじめ電話で確認の上、来院ください。
※小児科の診療日が6月から週1回(金曜日)に変更になります。

よろこび

かなしみ

平成23年4月受け付け分

◆お嬢さん、お嫁さん◆1組(3組)

◆4月

日	お名前	世帯主	行政区
11	千葉亮和	男境義春	田久慈市

◆生まれたお子さん◆6人(7人)

◆4月

日	お名前	保護者	行政区
1	久慈正直	学館	
4	築場煌満	下五日市	
4	坂本季徳	晃横田	
17	後藤滉々	直樹下大町	
18	小島悠悟	上大町	
18	國分月煌	晃尚一方井	

◆亡くなられた人◆14人(17人)

◆4月

日	お名前(年齢)	世帯主	行政区
1	浦田廣志(70)	本人	ツ森
2	澤口仁八(80)	正年朽木林	
5	佐藤キヨ(80)	精一山道	
6	本堂ノリ(81)	豊八境田	
7	丹内キエ(72)	義幸黒石	
10	宮崎サキ(85)	重夫今松	
13	上平義夫(76)	敏彦上横沢	
15	遠藤エス(76)	三五二黒石	
17	工藤輝雄(76)	ミサ境田	
18	武田安民(83)	松田ミサワ中田	
20	三浦種志(83)	勝志一方井	
21	中村善次郎(81)	キヨイ葉の木	
23	金山春江(92)	本人館	
28	三浦清久(86)	道久黒石	

()内は実数。お婿さんお嫁さんは、結婚して町内に住所がある人を掲載。

広報に掲載を希望しない人は、届け出のときに町民課にお話ください。

◆人口の動き(23.4.30現在)

男	女	計
7,596人 (△14人)	7,886人 (4人)	15,482人 (△10人)
5,400人 世帯(2世帯)		
出生・7人	死亡・16人	
転入・55人	転出・56人	
()内は前月比		

お知らせ

役場 62-2111

6月

募集しています

傾聴ボランティア 受講者募集します

傾聴ボランティアは、相手の話を否定せずにありのままに受け止めて「聴く」お話し相手ボランティアです。よりよい信頼関係の構築と情緒的一体感の共有を目指すための入門講座を開講します。

【日時】 8月 23日(火)、30日(火)、
9月 6日(火)、13日(火)、20日(火)
【会場】 盛岡市総合福祉センター
(盛岡市若園町 2-2 盛岡市社会福祉協議会 4階)
【受講料】 2,500円(全5回)

【定員】 48人

【参加資格】 どなたでも受講できます。ただし、全日程を受講できる人で講座終了後、傾聴ボランティア活動に参加する意欲のある人に限ります。

【講師】 鈴木絹英(NPO法人ホールファミリーケア協会理事長)

【申込期限】 7月 15日(金)(消印有効)

【申し込みと問い合わせ先】

〒020-0831 盛岡市三本柳 4-14-2

傾聴ボランティアもりおか会長藤原一高 ☎ 019-639-1236(午前7時~8時まで)携帯 090-2983-5624(午後2時から5時まで)住所、氏名、年齢、職業、電話番号、FAX番号を記入し、往復はがきで申し込んでください。応募多数の場合は抽選となります

県の職員(獣医師) を募集しています

県は、平成24年4月1日(予定)から県の機関で勤務する獣医師を募集しています。

【職種】 獣医師

【採用予定人員】 3人

【応募資格】 45歳未満(平成23

年4月1日)で、獣医師法の規定による獣医師免許を有する人または、採用までの間に取得する見込みの人

【応募期限】 6月 30日(木)(消印有効)

【第1次試験】 7月 10日(日)

盛岡地区合同庁舎(盛岡市内丸11-1)で教養試験と論文試験を行います

【問い合わせ先】 県総務部人事課

☎ 019-629-5071

平成23年度入国警備官募集します!

仙台入国管理局は出入国管理行政の第一線で活躍する入国警備官を募集します。

【受験資格】 昭和63年4月2日~平成6年4月1日生まれの人

【受付期間】 ○インターネット
7月 19日(火)~7月 26日(火)

○郵送または持参 7月 19日(火)
~8月 2日(火)

【第1次試験】 9月 25日(日)

【問い合わせ先】 仙台入国管理局
総務課 ☎ 022-256-6076

行われます

体験しよう子育て 支援センター事業

町子育て支援センターは、各種子育て講習会を行います。講座開催中は子育て支援ボランティアの皆さんによる託児を行いますので、気軽に参加ください。詳しくは、町子育て支援センター

☎ 65-2131に問い合わせください。

○保健講座

「一人ひとりに合った歯磨き指導」

【日時】 6月 16日(木)午前10時~

【場所】 ゆはず交流館 創作室

【定員】 10組(先着順)

【講師】 歯科衛生士

【費用】 無料

【持ち物】 いつも使用しているお子さんの歯ブラシ、歯磨き粉、フッ素など

【申込期限】 6月 9日(木)

○育児講座

「予防接種について聞いてみよう」

【日時】 6月 30日(木)午前10時~

【場所】 ゆはず交流館 創作室

【定員】 10組(先着順)

【講師】 役場保健師

【費用】 無料

【持ち物】 母子手帳

【申込期限】 6月 23日(木)

年1回の狂犬病予 防注射を忘れずに

町は、各地区を巡回し、狂犬病予防の集合注射を行います。

狂犬病は、人畜共通の伝染病で最も恐ろしい病気といわれ、法律で生涯1回の飼い犬の登録と、年1回の予防注射の接種が義務付けられています。最寄りの会場で必ず受けましょう。

【日時】 6月 14日(火)~23日(木)(土日を除く)

【場所】 町内各会場

に応じています。相談は秘密厳守・無料です。事前に予約ください。

【日時】 6月 14日(火)午前10時~午後5時

【場所】 東北財務局盛岡財務事務所(盛岡市内丸7-25 盛岡合同庁舎1号館3階)

【受付期間】 6月 10日(金)までの平日の午前9時~午後5時45分

【問い合わせ先】 東北財務局多重債務相談窓口 ☎ 022-266-5703

その他

6月5日~11日は 「危険物安全週間」

「危険物 無事故のゴールは譲れない!」を推進標語に、6月5日(日)から11日(土)まで危険物安全週間が行われます。危険物をよく知り、事故を未然に防ぐために、次のこと気につけましょう。

①ホームタンクは、地震などで転倒しないように固定する

②油防堤がある場合は、水抜きや除雪をする。水抜きが終わったら水抜栓を完全に閉める

③配管は金属管を使い、亀裂やにじみを確認する

④小分けにするときは、その場を離れずに、終わったらホームタンクのバルブを完全に閉める

【問い合わせ先】 盛岡中央消防署岩手分署 ☎ 62-2109

盛岡地区消防本部 の電話番号が変更

本町を管轄する盛岡地区広域消防組合消防本部の電話番号が6月1日から変更されます。

【新代表電話番号】 ☎ 019-622-0119

【所在地】 盛岡市内丸8-5



電話応対を練習中です

「先輩たちは皆さん優しく、面白い人たちで楽しい職場です」と口をそろえるあゆみさんと夏純さんはこの春、地元沼宮内高校を卒業し働き始めた新社会人です。高校時代はそれぞれ、ソフトテニス部とバスケットボール部で部活動に打ち込んだ二人。職場では伝票の打ち込みや窓口業務、集金などを先輩たちに教わりながら担当します。「仕事をする前、銀行には預金のイメージくらいしかありませんでしたが、実際に仕事を始めるとローンや保険、投資信託などいろいろな業務があり、少しづつ勉強中です。現在は電話の応対を練習しています」と話す二人の理想の男性像は「おもしろくて頼りになる人」、「優しくて話しやすい人」だと。早く仕事を身に付けてみたい」とがんばる毎日は緊張の連続ですが、「少しあはれてきたかな」と話す顔には初々しい笑みがこぼれます。

白樺 あゆみさん(左)
弧爪 夏純さん

【プロフィール】 しらかば・あゆみ 18歳、血液A型、てんびん座(白樺)
ごづめ・かすみ 18歳、血液O型、おとめ座(愛宕座) 沼宮内高等学校卒業 平成23年3月に卒業し、同年4月から東北銀行沼宮内支店に契約員として勤務。

ヤング散歩
No.277

ふるさと
岩手町紀行

通りすむ

— 第62回 —

通(つう)とは物事によく知っていること。知る人ぞ知る、岩手町の魅力をお届けしてまいります。



①新団体名と新隊長が決定した定時総会②連合歓隊の新名称で初めての出店はゴールデンウイークの道の駅「石神の丘」。たくさんのお客さまから焼きうどんと復興支援にご声援いただきました

いよいよB-1全国の舞台へ

ご当地グルメ研究会が生まれ変わり
「いわてまち焼きうどん連合歓隊」に



連合歓隊の隊長に就任した
菊池 真一郎さん
(58歳、下野口町)

「昇格の知らせを聞きほつとしました。9月には町内でも大きなイベントを計画中。連合歓隊は止まりませんよ」と意気込みます。

連合歓隊の隊長に就任した
菊池 真一郎さん
(58歳、下野口町)
「昇格の知らせを聞きほつとしました。9月には町内でも大きなイベントを計画中。連合歓隊は止まりませんよ」と意気込みます。

「いわてまち焼きうどん」を通じた町おこしに取り組む町ご当地グルメ研究会。そのスピード感ある取り組みは、発足以来わずか二年の間に東北B-1グランプリ第五位入賞、全国焼きうどんサミット開催など大きな実績を重ねてきました。活動三年目となる本年度、同会は四月二・十六日に開催した定時総会で、「町の関係機関・企業・個人が手を携え『連合』し、『歓』迎の心を持つた、もてなしができる『隊』に」という意味を込め、団体名を「いわてまち焼きうどん連合歓隊」に改名しました。いよいよ全国B-1グランプリを目指そうと町おこしへの決意を新たにした直後、同グランプリを運営する愛Bリーグから正会員への昇格が承認されたという吉報を受信。ついに十一月に兵庫県で開催される同グランプリの出展資格を獲得しました。波に乗る連合歓隊。今後もその活動から目が離せません。



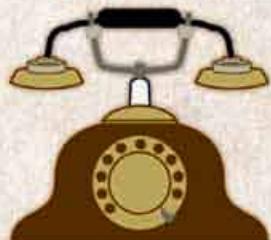
編集後記

皆さんこんにちは。
最後まで読んでいただきありがとうございます。
今月号で紹介しました「しんいちろう餃子ねばり」そして「いわてまち焼きうどん」。

高い品質の町産食材を生かしたおいしいものがこの町にはいっぱいあります。ぜひ皆さんにたくさん食べていただきたいものです。たくさん食べるとなかの出が気になるというあなた。心配ありません。町スポーツ文化センター「森のアリーナ」が、いつでもあなたをお待ちしています。お待ちしています。

(佐藤)

こちらテスクです



62-2111 (内線) 216